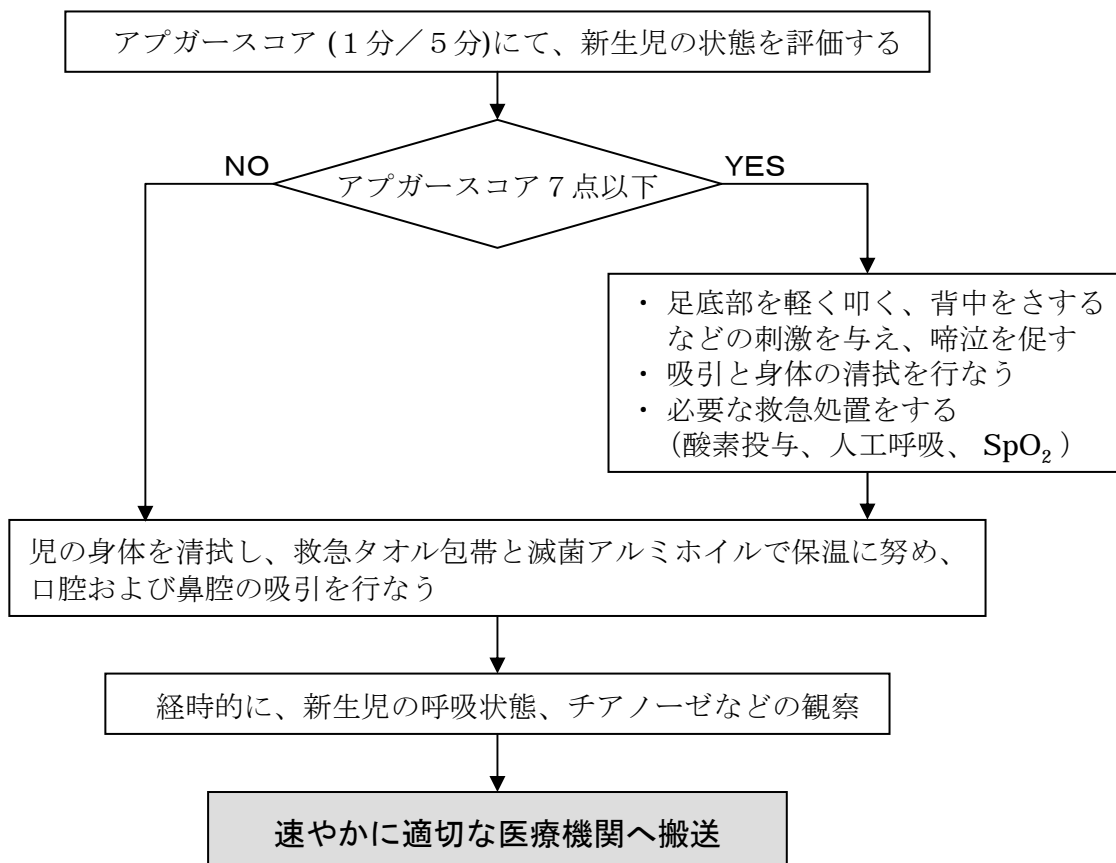
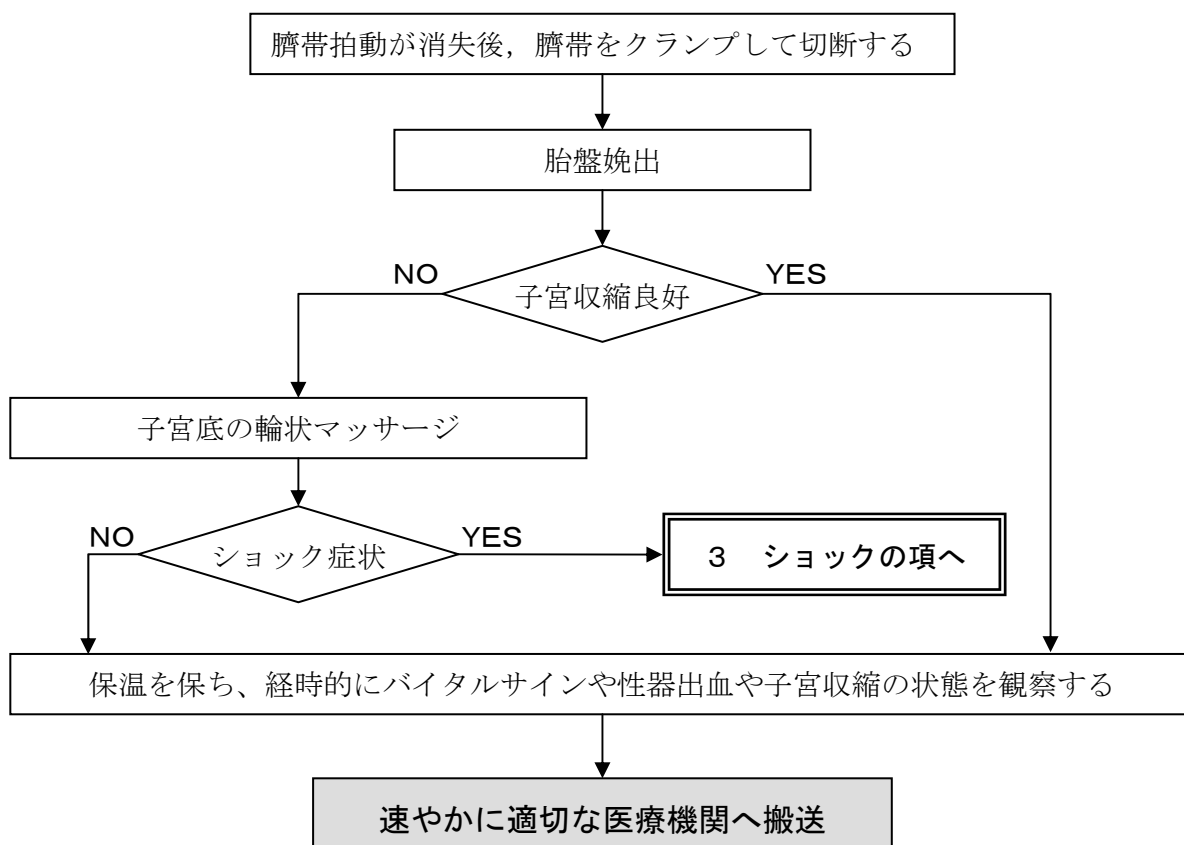


### ③ - I 新生児の観察



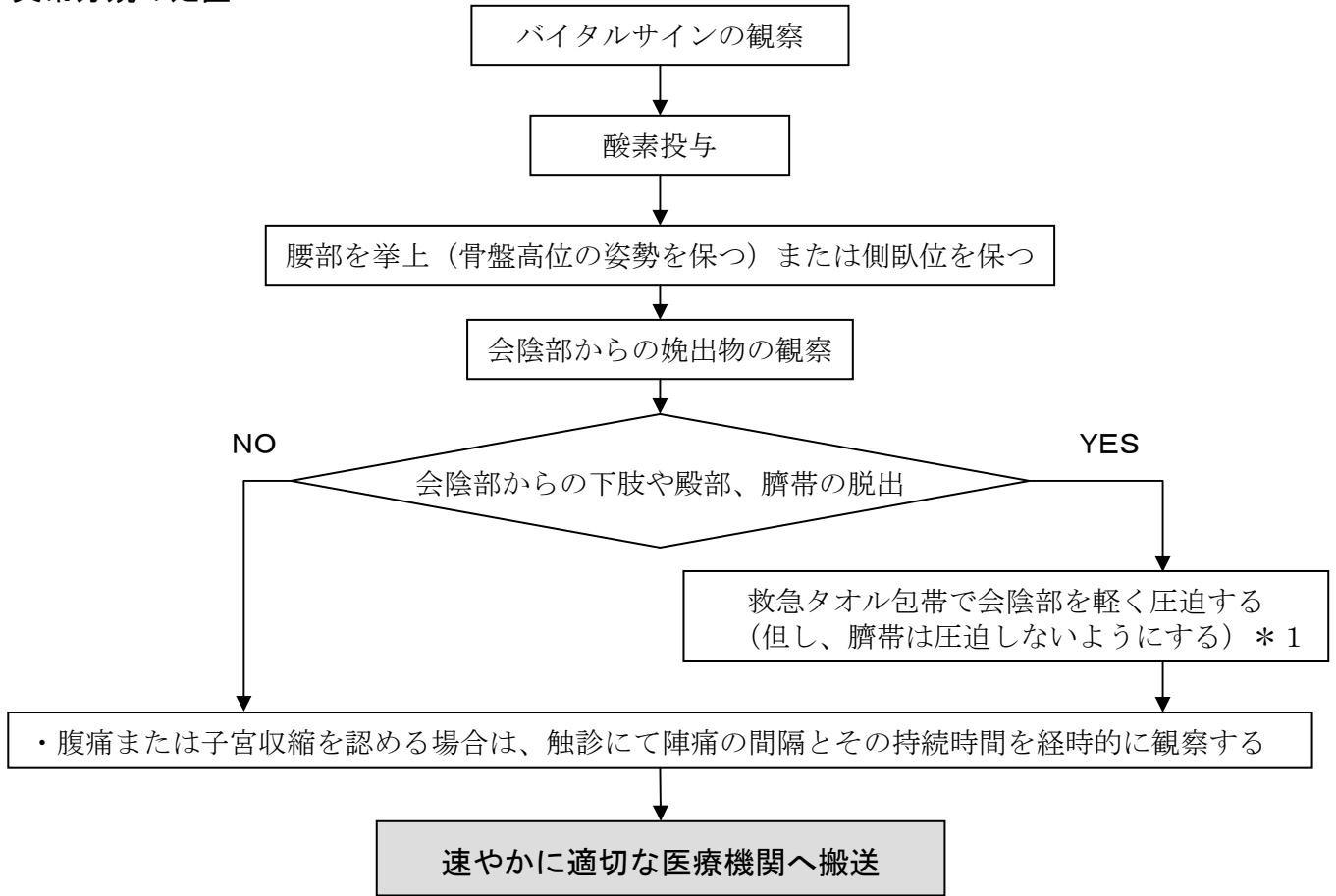
### ③ - II 母体の観察



## 25-3 周産期

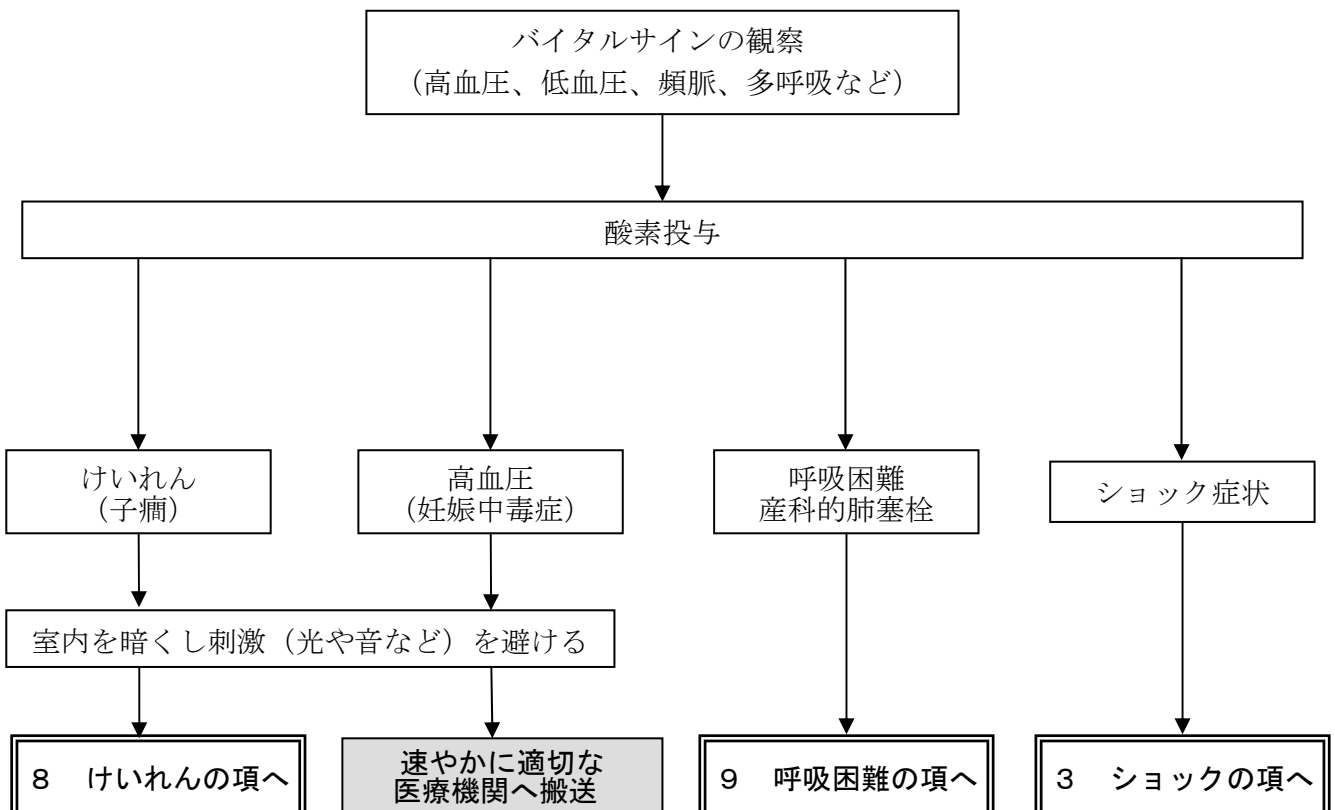
### — 異常分娩、産科合併症 —

#### 異常分娩の処置



\*1 必要があれば医師に連絡し、指導・助言を求める。

#### 産科合併症の処置

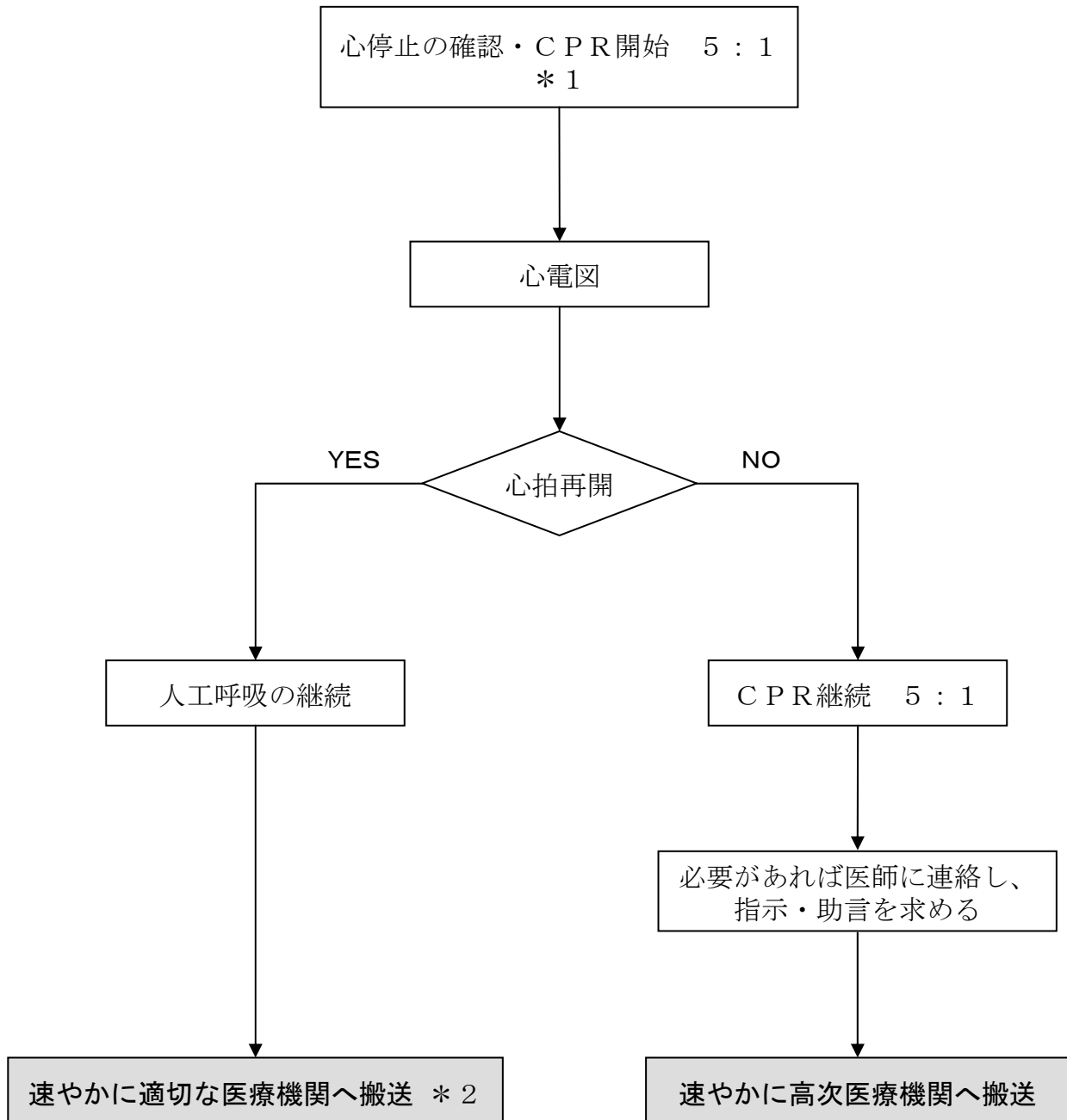


# 26-1 乳 幼 児

## － 心肺機能停止 －

注

外傷・栄養状態などの異常(虐待の疑い)が見られた場合、医師に報告するとともに関係機関への連絡についても考慮する。



\* 1 体温低下に留意する。

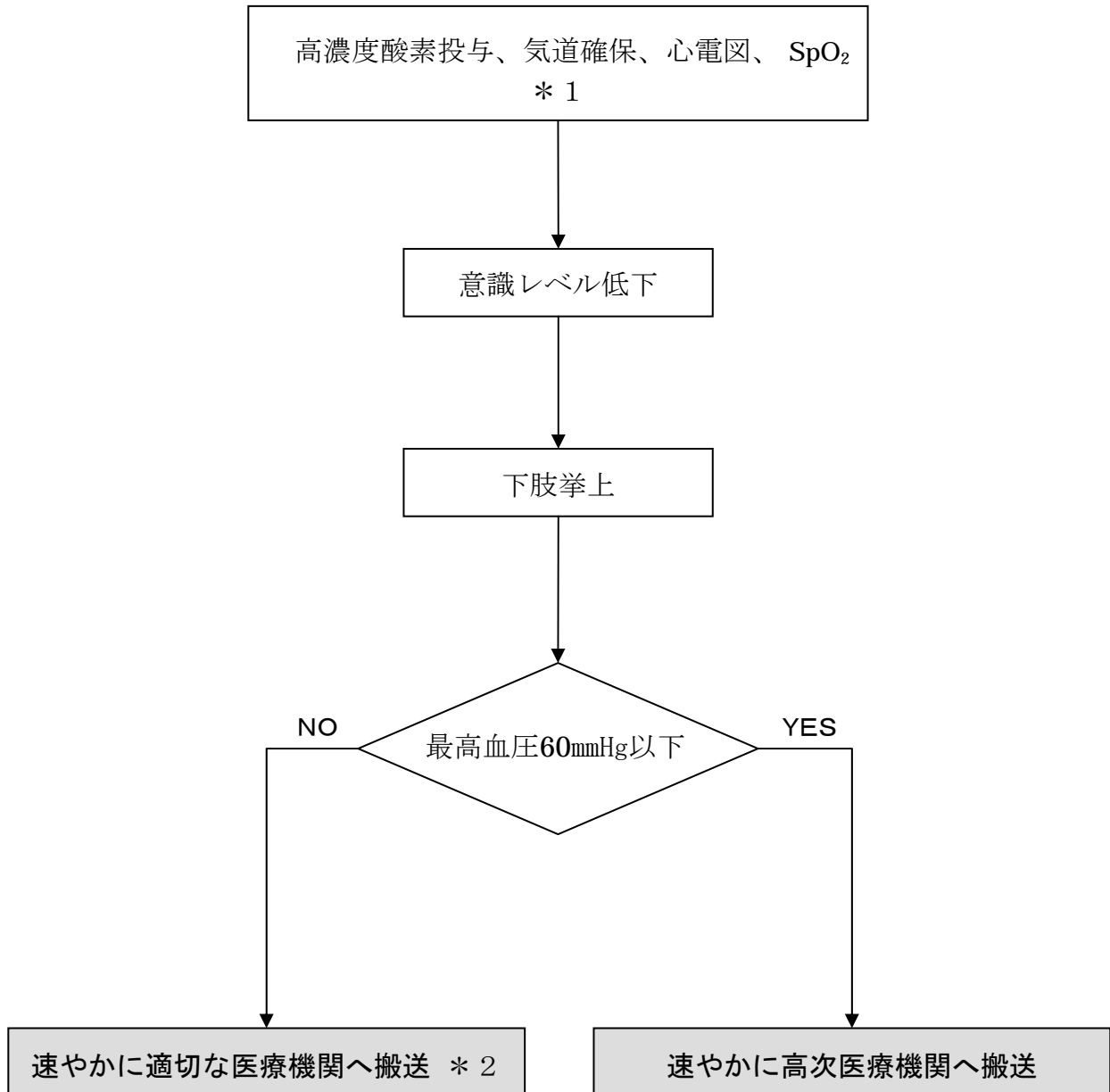
\* 2 小児科医の常駐する医療機関が望ましい。

## 26-2 乳 幼 児

### － ショック －

注

外傷・栄養状態などの異常(虐待の疑い)が見られた場合、医師に報告するとともに関係機関への連絡についても考慮する。



\* 1 体温低下に留意する。

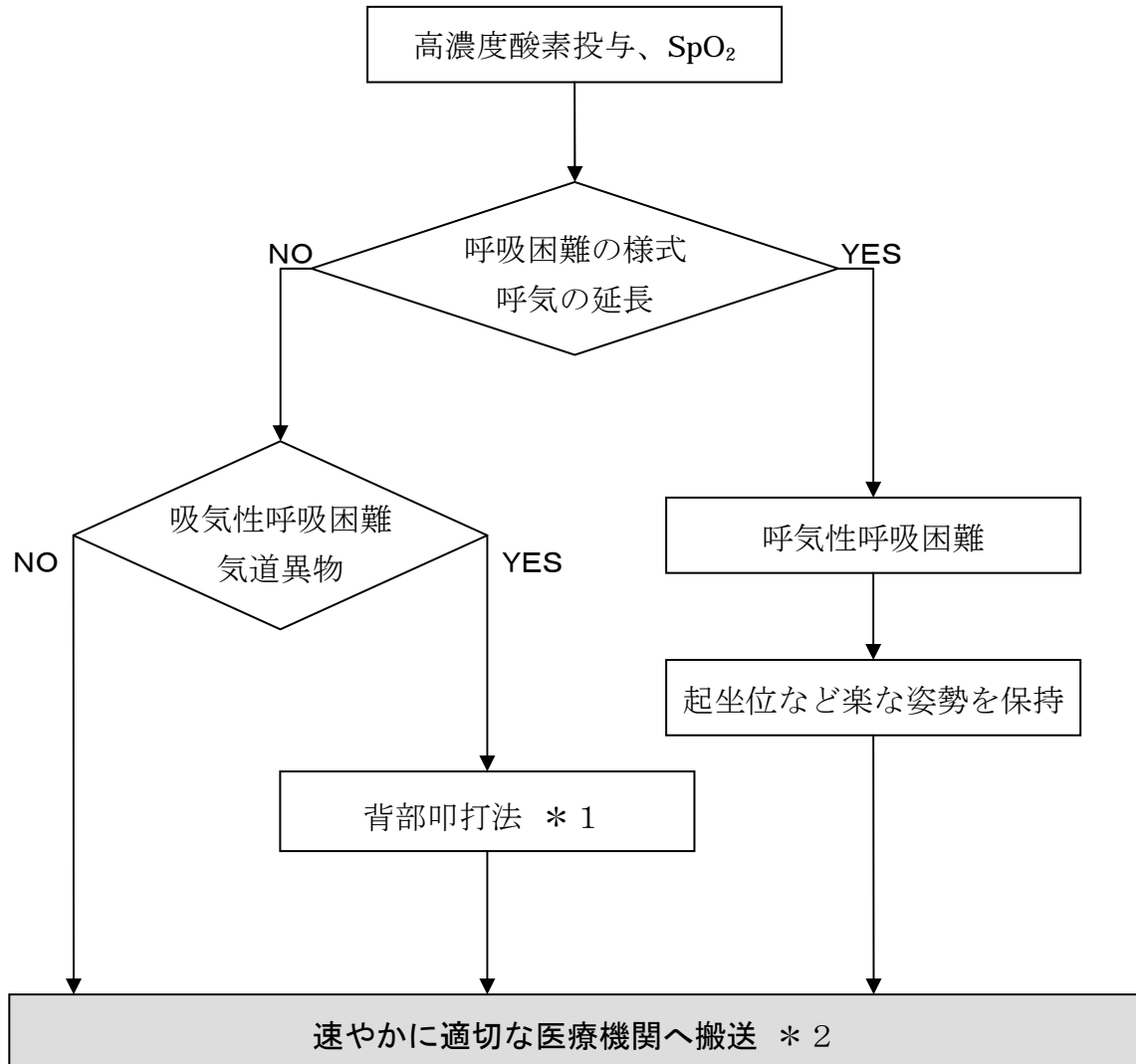
\* 2 小児科医の常駐する医療機関が望ましい。

## 26-3 乳 幼 児

### －呼吸困難－

注

外傷・栄養状態などの異常(虐待の疑い)が見られた場合、医師に報告するとともに関係機関への連絡についても考慮する。



\* 1 器具による異物除去も考慮。

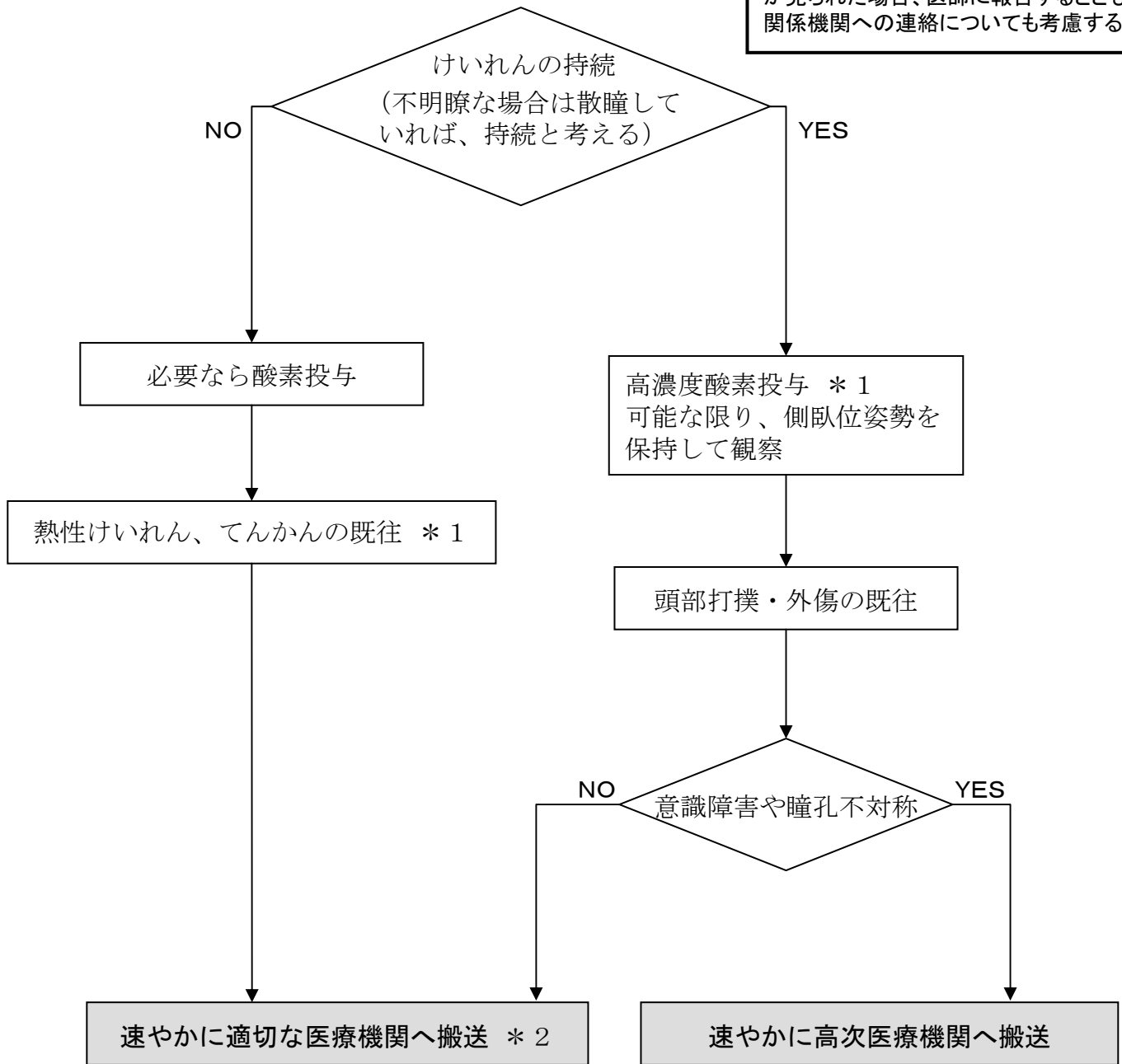
\* 2 小児科医の常駐する医療機関が望ましい。

# 26-4 乳 幼 児

－ けいれん －

注

外傷・栄養状態などの異常(虐待の疑い)が見られた場合、医師に報告するとともに関係機関への連絡についても考慮する。



\* 1 熱性けいれんは冷却する。

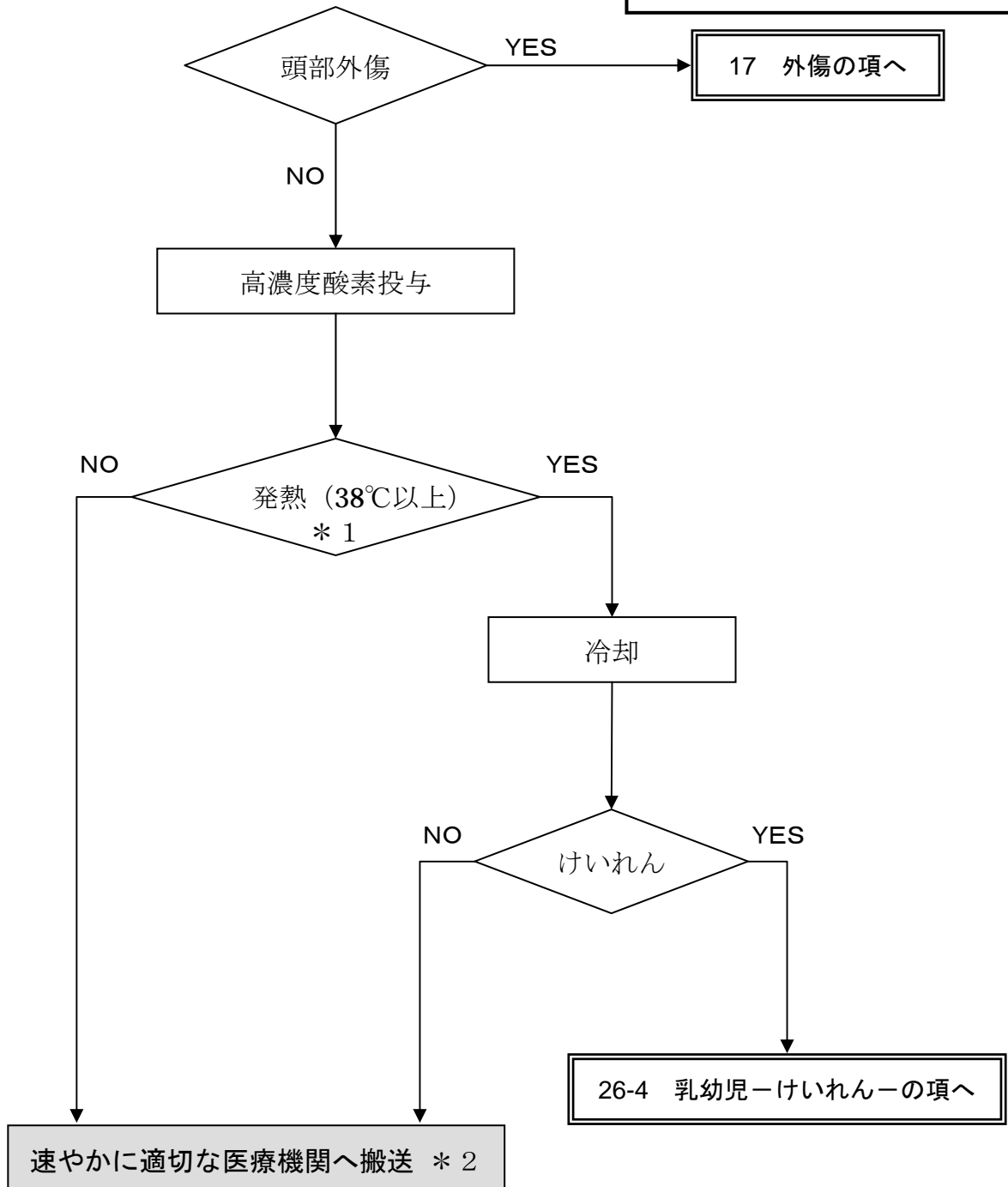
\* 2 小児科医の常駐する医療機関が望ましい。

# 26-5 乳 幼 児

— 意識障害 —

注

外傷・栄養状態などの異常(虐待の疑い)が見られた場合、医師に報告するとともに関係機関への連絡についても考慮する。



\* 1 低体温にも留意する。

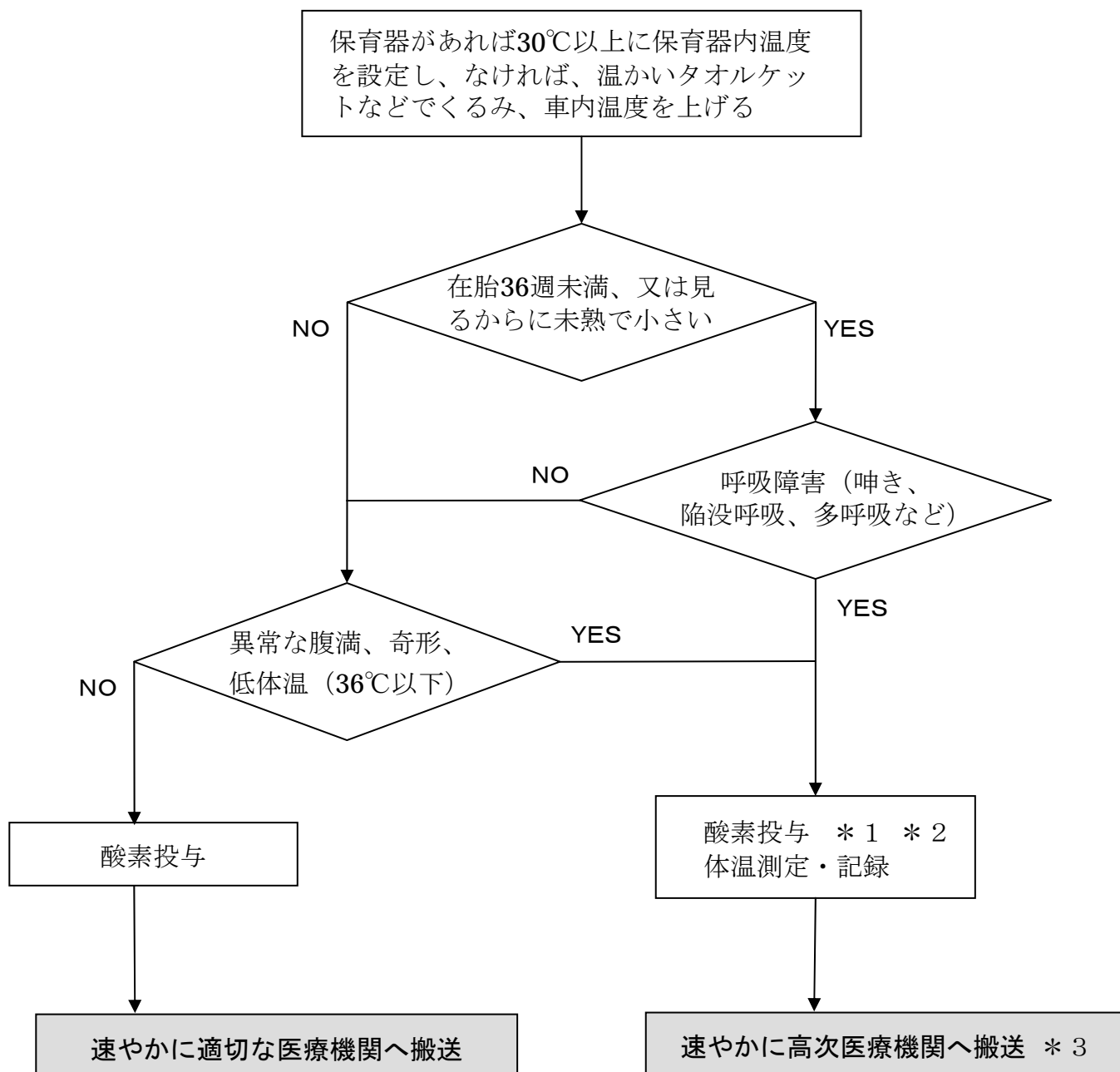
\* 2 小児科医の常駐する医療機関が望ましい。

# 26-6 乳 幼 児

— 新生児救急 —

注

外傷・栄養状態などの異常(虐待の疑い)が見られた場合、医師に報告するとともに関係機関への連絡についても考慮する。



\*1 愛護的な人工換気も考慮する。

\*2 必要があれば医師に連絡し、指導・助言を求める。

\*3 新生児科医の常駐する高次医療機関が望ましい。

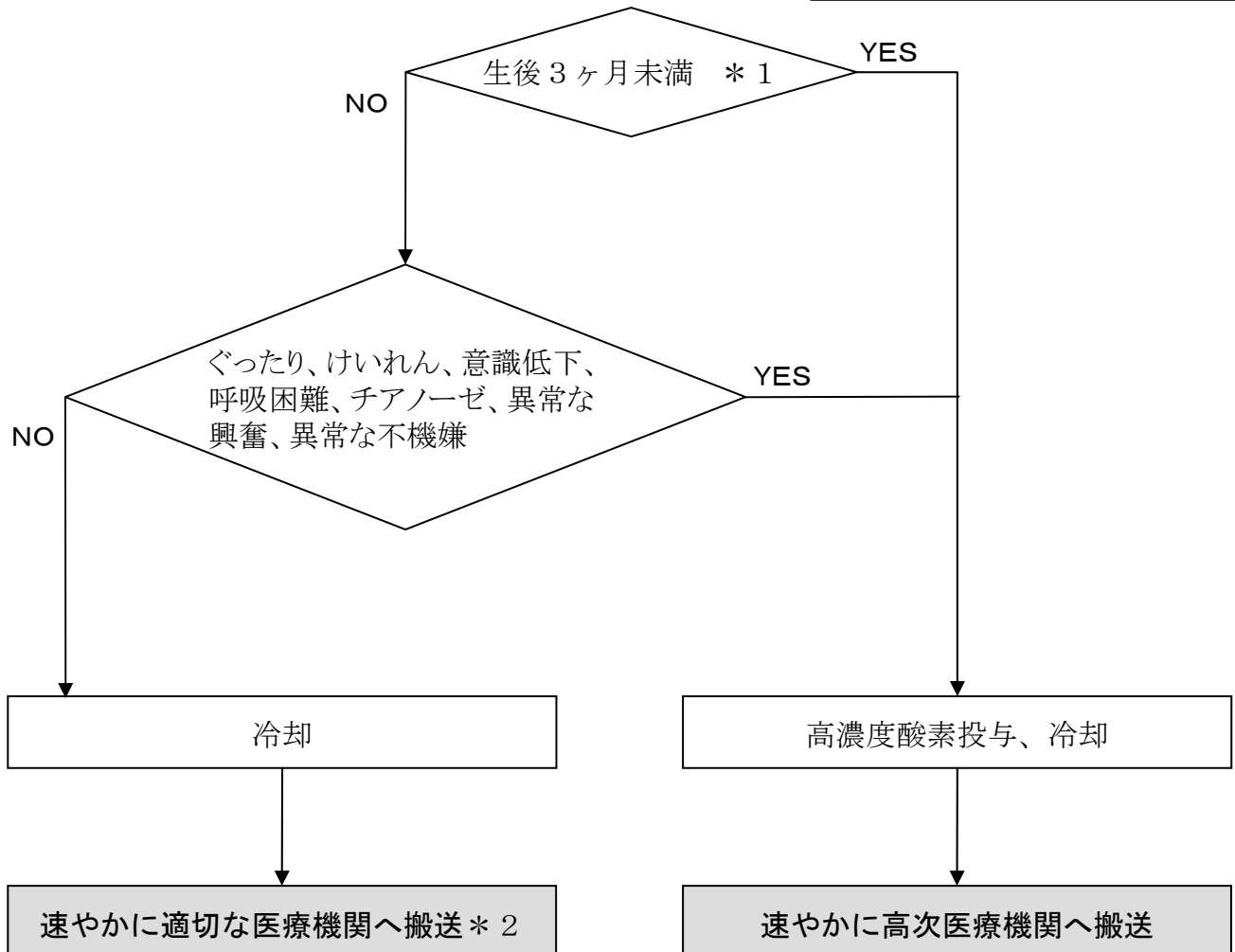


# 26-7 乳 幼 児

— 高熱 (39°C以上) —

注

外傷・栄養状態などの異常(虐待の疑い)が見られた場合、医師に報告するとともに関係機関への連絡についても考慮する。



\* 1 細菌感染症の頻度が高い。

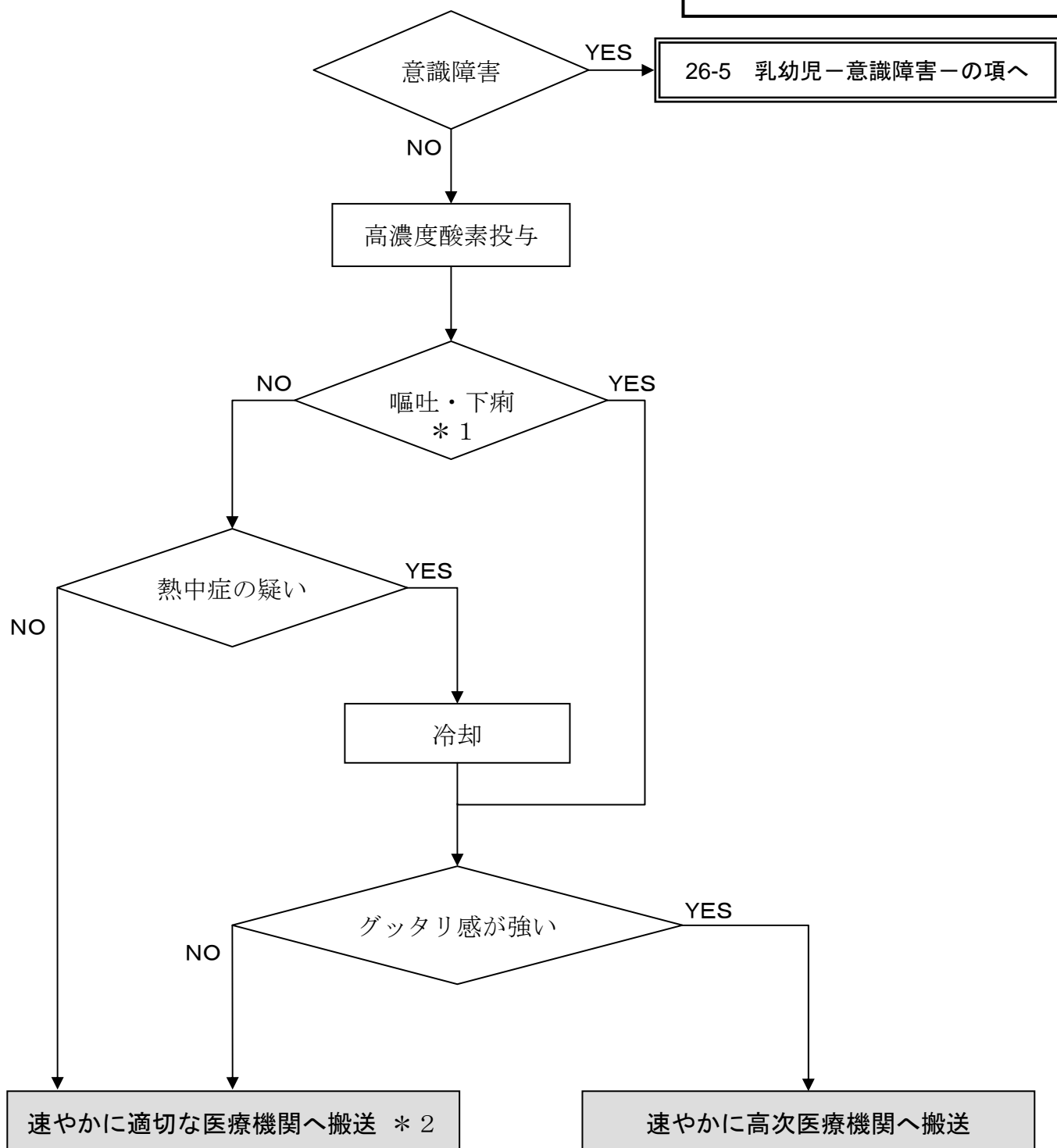
\* 2 小児科医の常駐する高次医療機関が望ましい。

# 26-8 乳 幼 児

－ 脱 水 －

注

外傷・栄養状態などの異常(虐待の有無)が見られた場合、医師に報告するとともに関係機関への連絡についても考慮する。



\* 1 体温低下に留意する。

\* 2 小児科医の常駐する医療機関が望ましい。